

坪井町会（大阪府和泉市）に アルミ製車いす寄付 堀田ハガネ アルミ缶を自社で回収

特殊鋼流通の堀田ハガネ（本社・大阪府堺市、社長・中川真史氏）は、アルミ製車いすを大阪府和泉市の坪井町会に寄付した。同社は、5年ほど前からアルミ缶やプルタブを集めアルミ製車いすを福祉施設協議会などに寄付する活動

設などに寄付する活動を続けており今回が4回目。

この活動は、アルミ缶やプルタブを800キロ集め、支援団体の環公害防止連絡協議会に送ると福祉施設や福祉協議会などに車いす

が寄付される。同社OBの池辺長久氏を中心に、死骸などを取り除き、朝礼後の掃除の時間になつて集めたアルミ



中央左が中川社長、同右が坪井町会長

缶を同社で洗浄し虫のつぶしプルタブを回収している。同社は約1年半でアルミ製車いす1台分のアルミ缶を回収している。

9日に坪井町民会館で行われた車いすの贈呈式で坪井初秋坪井町会長は「頂いた車いすは町民会館に大切に保管し、災害時の緊急避難用や町会のイベント開催時など有効に使わせていただく」と謝礼を述べた。

また、社内では太陽光発電システムの設置や雨水の活用、照明のLED化など環境負荷低減を図る取り組みも進めている。中川社長は「堀田靖前社長の掲げた社是の一つ『ええ会社にしませ』を実践するため、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたい」としている。

